

(探究) 本校卒業生 (藤本悠太さん) による探究講演 (6月 21 日)



6月21日(水)に、本校卒業生である藤本悠太さんが探究講演会の講師を務めてくださいました。対象は、5年生の生徒および教職員の約200名です。

藤本悠太さんは現在、福山大学に在学中で、「社会人基礎力育成グランプリ」に出場し、大賞(=全国1位)を受賞されるなど、目覚ましい活躍をされています(福山大学のCMにもご出演中です)。

彼は福山大学の3人で、三次市甲奴町を中心に、「過疎化の進む中山間地域の課題を解決したい」という思いで、プロジェクト「REBORN」を立ち上げました。その一環として、廃棄される作物や雑木などの未利用資源を活用し、その地域ならではの「REBORN SAUNA(リボーン サウナ)」という活動を展開されています。福山城でも、400年記念イベントでサウナを実施されました。

彼らの活動の目的は「地域の活性化」です。地域の未利用資源を活用し、地域経済の活性化につなげたり、サウナを通じて地域コミュニティを形成したり、地域の課題を解決することを目指しています。

彼らの活動は多くのニュースや雑誌(ウイングなど)でも取り上げられており、ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。

生徒の少し年上の先輩が、本当に地域の課題解決を目指して、実践的な活動を行っていることを、向井(前)校長先生から伺いました。現在「夢プロ」という探究活動を行っている5年生に、課題解決の事例を知ってもらおうとこの企画を立ち上げました。

以下に参加した5年生からの感想をいくつか紹介します。先輩から、探究のヒントとなるさまざまな刺激を受け取れたようです。

(生徒の感想)

- 課題を見つけてから、すぐにアイデアを出すのではなく、まずその街の事を知り、たくさんもの解決アイデアの中から1つを実行するというのがすごいなと思いました。
- 地域のダメなところを直すために探究するのではなく、活用したら光りそうな原石を利用して解決アイデアを考える。
- 一定期間そこで暮らし、体験して課題や学びを得るという課題発見の方法の素晴らしさに胸を打たれた。
- 私は、自分達だけで課題解決アイデアを考えようとしていたけれど、藤本さんのお話を聞いて、地域の特徴を考えて実際に地域の人に話を聞いて解決アイデアを立てることが大切だと思った。
- 藤本さんは、事業を考えると、解決策を30~40個も考えられていた。今まで1つの問題に1つの解決策だと思っていたので、驚いた。
- 「現場で体験して学びや課題を得る」というのは是非とも取り入れたい。そこで得た気づきについて、いかにして人、資源、コストのような面を横断的かつ効果的に表現できる解決策を生み出せるかというのは、非常に困難や苦悩のあることだと思うが、大変価値が大きく努力してみたい。
- 自分が夢プロで考えている課題はかなり大きかったので、1つの地域に絞るなどする事でより深く考えて実行できるようにする。
- 地域の特徴を考えて地域の人に実際に話を聞いたりして地域の人と一緒に解決アイデアを考えること。藤本さんはまず三次市甲奴町という所に1ヶ月間住んでみていたので、それは私にはできないけれど、それを参考にしてまずは地域の人にインタビューしてみる。
- 私はお米を使ったレシピを考案しようと思っているので、その他の廃棄されやすい食物にも目を向けてみたいと思いました。
- とても為になる講演をありがとうございました。この講演で初めてREBORN SAUNAについて知りました。私もこのプロジェクトのように自分の探究を深めて実行していきたいです。
- お忙しい中ありがとうございました。たくさん学べた事も多く、自分にはない探究の進め方をつかめたとても良い機会でした。貴重なお話が聞けて良かったです。アイデアをアイデアのままにせず、課題だと思ったことを行動に移したり、常に課題意識を持って過ごしたりしたいと思いました。

地域や社会の課題解決に向けて活動している先輩(卒業生)は多いと思います。「こういう面白い取り組みをしているよ」「きっと生徒の探究活動に参考になるのでは」という事例がありましたら、何かの機会に学校まで情報をお寄せいただけると幸いです。